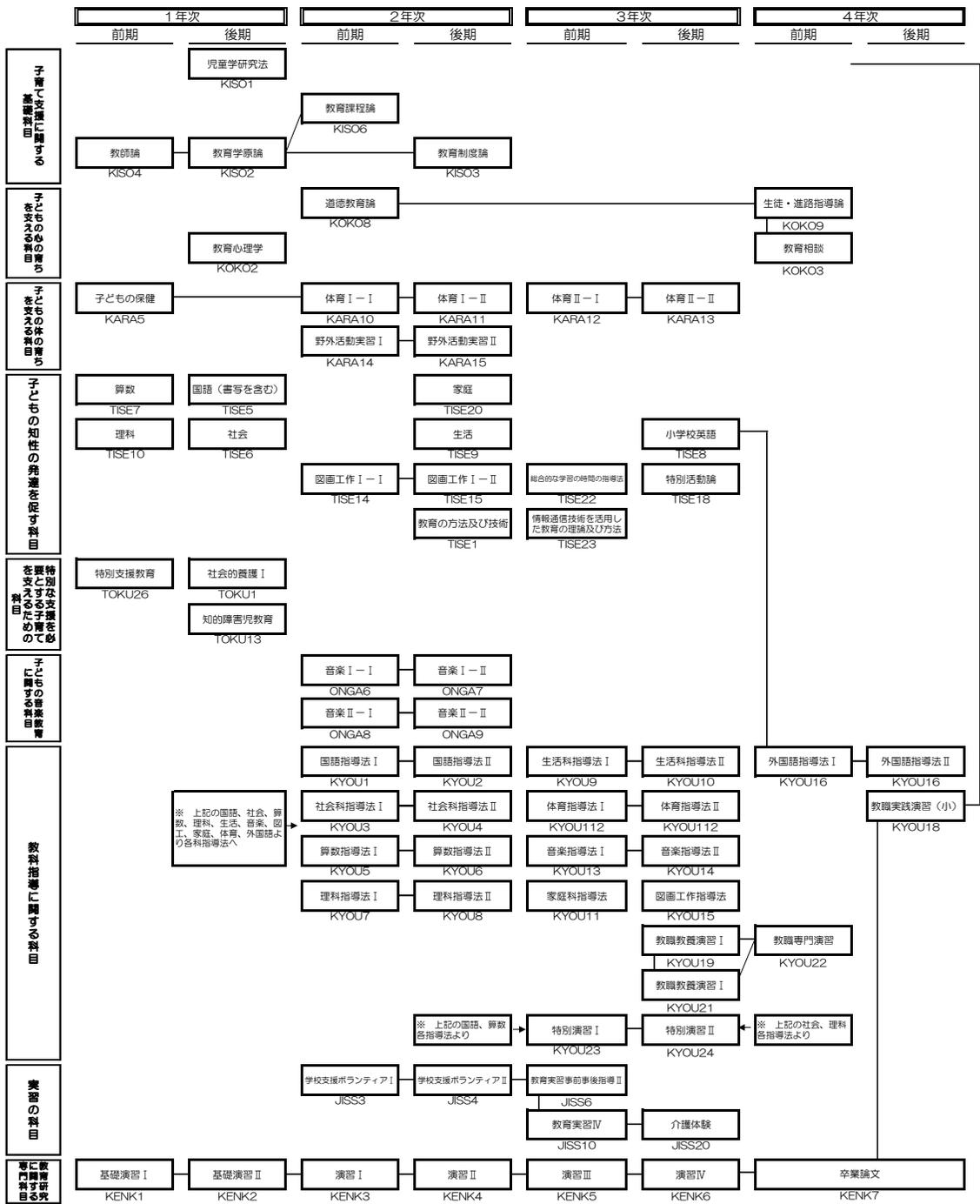


● 各コースの履修モデル（2023～2024年度入学生）

◆ 児童教育コース

	1年次			2年次			3年次			4年次			計
	科目名	選択 必修	単位	科目名	選択 必修	単位	科目名	選択 必修	単位	科目名	選択 必修	単位	
全学共通科目	日本国憲法		2	英語Ⅱ	選必	1	総合科目		2	芸術文化		2	
	うどん学		2	英語Ⅳ	選必	1	人権教育		2	ボランティア		2	
	香川学	必修	2				コミュニケーション演習Ⅰ		1	コミュニケーション表現		2	
	数理データサイエンスと未来	必修	2				コミュニケーション演習Ⅱ		1	人間と環境		2	
	情報基礎演習		1										
	情報応用演習		1										
	日本語表現基礎Ⅰ		1										
	日本語表現基礎Ⅱ		1										
	英語Ⅰ	選必	1										
	英語Ⅱ	選必	1										
	健康とスポーツ		2										
健康とスポーツ実習		1											
計	17単位			2単位			6単位			8単位			33
子育て支援に関する専門科目	子育て支援に関する基礎科目	児童学研究法	必修	1	教育制度論		2						9
		教育学原論	必修	2	教育課程論		2						
		教師論	必修	2									
	子どもの心の育ちを支える科目	教育心理学	必修	2	道徳教育論		2			教育相談 生徒・進路指導論		2 2	8
		子どもの体の育ちを支える科目		2	体育Ⅰ－Ⅰ 体育Ⅰ－Ⅱ 野外活動演習Ⅰ 野外活動演習Ⅱ		1 1 1 1	体育Ⅱ－Ⅰ 体育Ⅱ－Ⅱ		1 1			8
	子どもの知性の発達を促す科目	国語(書写を含む)		2	図画工作Ⅰ－Ⅰ		1	総合的な学習の時間の指導法		2			22
		算数		2	図画工作Ⅰ－Ⅱ		1	特別活動論		2			
		理科		2	教育の方法及び技術		2	小学校英語		2			
社会		2	生活		2	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		1					
特別な支援を必要とする子育てを支える科目	特別支援教育 社会的養護Ⅰ 知的障害児教育		2 2 2									6	
子どもの音楽教育に関する科目				音楽Ⅰ－Ⅰ 音楽Ⅰ－Ⅱ 音楽Ⅱ－Ⅰ 音楽Ⅱ－Ⅱ		1 1 1 1						4	
教育実践に関する専門科目	教科指導に関する科目	国語指導法Ⅰ		1	生活科指導法Ⅰ		1	外国語指導法Ⅰ		1		1	27
		国語指導法Ⅱ		1	生活科指導法Ⅱ		1	外国語指導法Ⅱ		1		1	
		算数指導法Ⅰ		1	家庭科指導法		2	教職実践演習(小)		2		2	
		算数指導法Ⅱ		1	体育指導法Ⅰ		1	教職専門演習		1		1	
		理科指導法Ⅰ		1	体育指導法Ⅱ		1						
		理科指導法Ⅱ		1	音楽指導法Ⅰ		1						
		社会科指導法Ⅰ		1	音楽指導法Ⅱ		1						
		社会科指導法Ⅱ		1	図画工作指導法		2						
				1	教職教養演習Ⅰ		1						
			1	教職教養演習Ⅱ		1							
実習の科目			特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ		1 1								
教育研究に関する専門科目	学校支援ボランティアⅠ		1	介護体験		1						8	
	学校支援ボランティアⅡ		1	教育実習事前事後指導Ⅱ 教育実習Ⅳ		1 4							
基礎演習Ⅰ	必修	1	演習Ⅰ	必修	1	演習Ⅱ	必修	1	卒業論文	必修	4	10	
基礎演習Ⅱ	必修	1	演習Ⅱ	必修	1	演習Ⅳ	必修	1					
計	25単位			34単位			31単位			13単位			103
合計	42単位			36単位			37単位			21単位			136

児童教育コース履修系統図（左の頁の履修モデルに基づいて作成したものです）

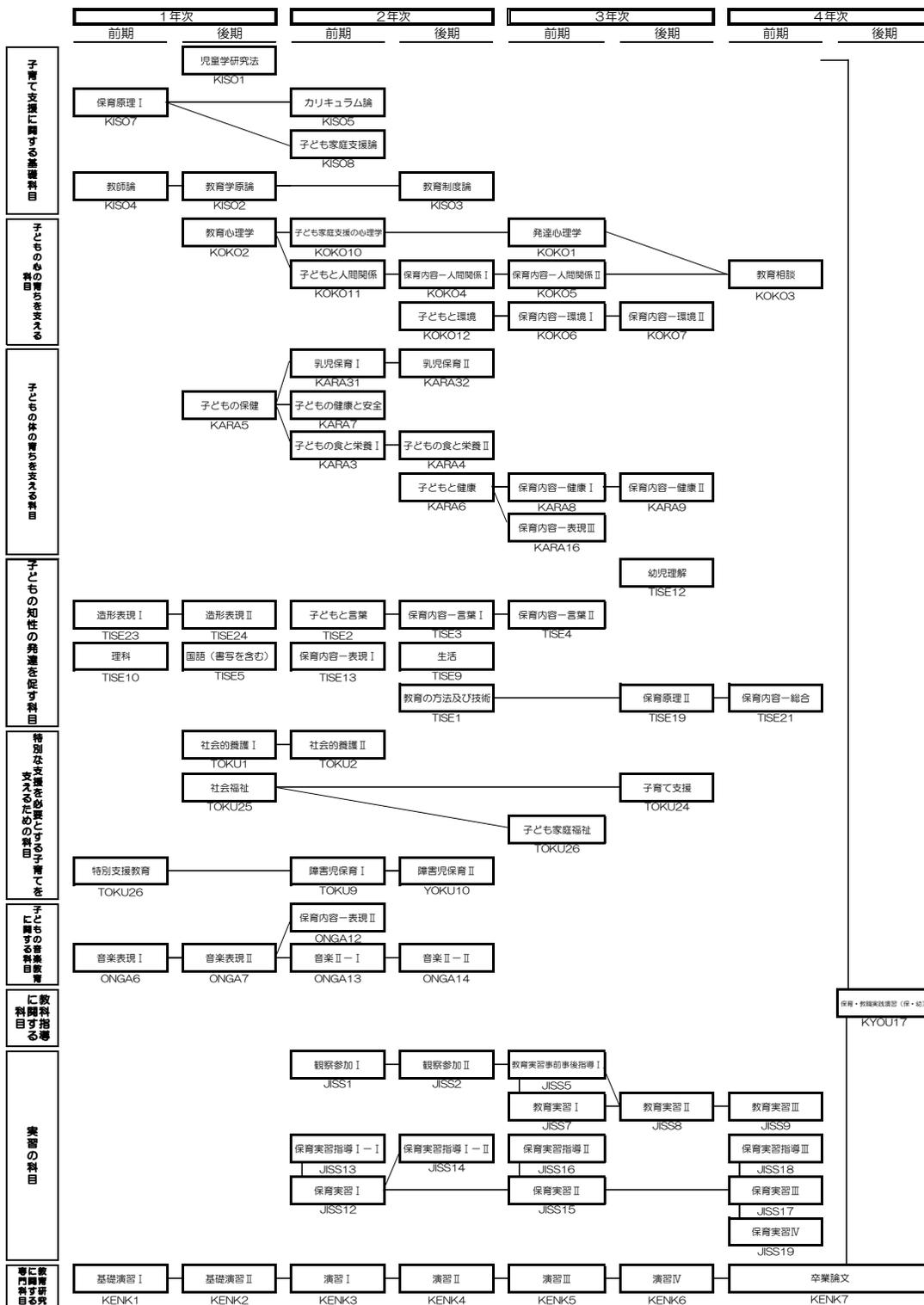


（注）科目名の下の記号及び数字について
 子育てに関する基礎科目はKISOを、子どもの心育を支える科目にはKOKOを、子どもの体の育ちを支える科目にはKARAを、子どもの知性の発達を促す科目にはTISEを、特別な支援を必要とする子育てを支えるための科目にはTOKUを、子どもの音楽教育に関する科目にはONGAを、教科指導に関する科目にはKYOUを、実習の科目にはJISSを、教育研究に関する専門科目にはKENKを、それぞれ付けています。
 さらに、観察参加や教育実習にはJISSEとしてEを加え、保育実習関係にはJISSNとしてNを加えています。それらの後に数字（順番）を付け、出来るだけつながりがわかるようにしてあります。

◆幼児教育コース

	1年次			2年次			3年次			4年次			計
	科目名	選択 必修	単位	科目名	選択 必修	単位	科目名	選択 必修	単位	科目名	選択 必修	単位	
全学共通科目	日本国憲法		2	英語Ⅱ	選必	1	総合科目		2	芸術文化		2	
	うどん学		2	英語Ⅳ	選必	1	人権教育		2	ボランティア		2	
	香川学	必修	2				コミュニケーション演習Ⅰ		1	コミュニケーション表現		2	
	数理データサイエンスと未来	必修	2				コミュニケーション演習Ⅱ		1	人間と環境		2	
	情報基礎演習		1										
	情報応用演習		1										
	日本語表現基礎Ⅰ		1										
	日本語表現基礎Ⅱ		1										
	英語Ⅰ	選必	1										
	英語Ⅱ	選必	1										
	健康とスポーツ		2										
健康とスポーツ実習		1											
計	17単位			2単位			6単位			8単位			33
子育て支援に関する専門科目	子育て支援に関する基礎科目	児童学研究法	必修	1	教育制度論		2						
		保育原理Ⅰ		2	カリキュラム論		2						
		教育学原論	必修	2	子ども家庭支援論		2						
		教師論	必修	2									
	子どもの心の育ちを支える科目	教育心理学	必修	2	子ども家庭支援の心理学		2	保育内容－人間関係Ⅱ		1	教育相談		2
					保育内容－人間関係Ⅰ		1	保育内容－環境Ⅰ		1			
					子どもと人間関係		1	保育内容－環境Ⅱ		1			
					子どもと環境		1	発達心理学		2			
	子どもの体の育ちを支える科目	子どもの保健		2	乳児保育Ⅰ		1	保育内容－健康Ⅰ		1			
					乳児保育Ⅱ		1	保育内容－健康Ⅱ		1			
				子どもの食と栄養Ⅰ		1	保育内容－表現Ⅱ		1				
				子どもの食と栄養Ⅱ		1							
				子どもの健康と安全		1							
子どもの知性の発達を促す科目	造形表現Ⅰ		1	教育の方法及び技術		2	保育内容－言葉Ⅱ		1	保育内容－総合		1	
	造形表現Ⅱ		2	生活		2	幼児理解		1				
	理科		1	保育内容－言葉Ⅰ		1	保育原理Ⅱ		2				
特別な支援を必要とする子育てを支える科目	特別支援教育		2	社会的養護Ⅱ		1	子育て支援		1				
	社会的養護Ⅰ		2	障害児保育Ⅰ		1	子ども家庭福祉		2				
	社会福祉		2	障害児保育Ⅱ		1							
子どもの音楽教育に関する科目	音楽表現Ⅰ		1	音楽Ⅱ－Ⅰ		1							
	音楽表現Ⅱ		1	音楽Ⅱ－Ⅱ		1							
				保育内容－表現Ⅱ		1							
教育実践に関する専門科目	教科指導に関する科目									保育・教職実践演習(保・幼)		2	
	実習の科目			観察参加Ⅰ		1	教育実習事前事後指導Ⅰ		1	教育実習Ⅲ		2	
教育研究に関する専門科目	基礎演習Ⅰ	必修	1	観察参加Ⅱ		1	教育実習Ⅰ		2				
	基礎演習Ⅱ	必修	1	保育実習Ⅰ		4	教育実習Ⅱ		2				
				保育実習指導Ⅰ－Ⅰ		1	保育実習Ⅱ		2				
			保育実習指導Ⅰ－Ⅱ		1	保育実習指導Ⅱ		1					
卒業論文	必修	4											
計	27単位			40単位			25単位			11単位			103
合計	44単位			42単位			31単位			19単位			136

幼児教育コース履修系統図（左の頁の履修モデルに基づいて作成したものです）

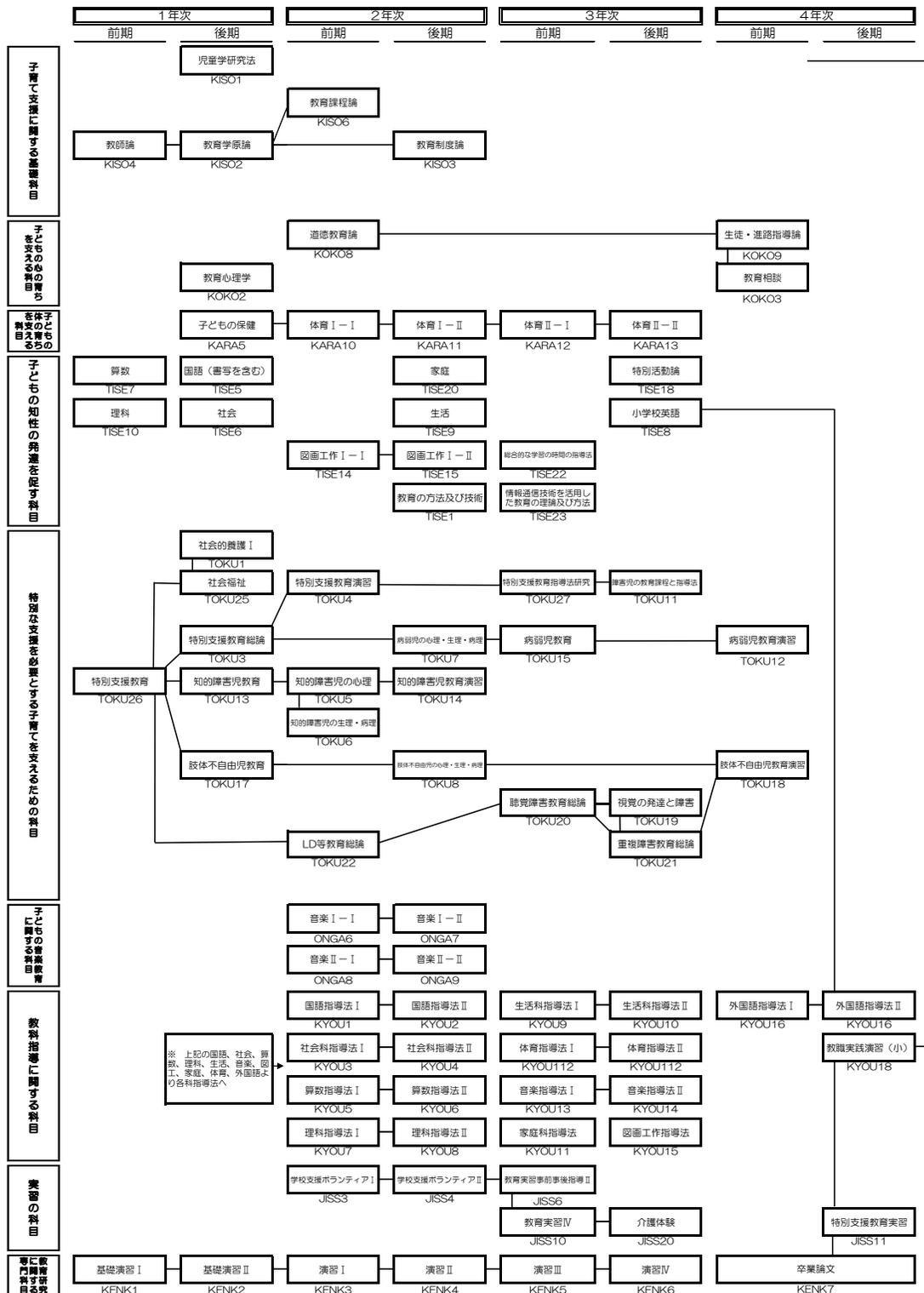


(注) 科目名の下の記号及び数字について
 子育てに関する基礎科目はKISOを、子どもの心の育ちを支える科目にはKOKOを、子どもの体の育ちを支える科目にはKARAを、子どもの知性の発達を促す科目にはTISEを、特別な支援を必要とする子育てを支えるための科目にはTOKUを、子どもの音楽教育に関する科目にはONGAを、教科指導に関する科目にはKYOUを、実習の科目にはJISSを、教育に関する専門科目にはKENKを、それぞれ付けています。
 さらに、観察参加や教育実習にはJISSEとしてEを加え、保育実習関係にはJISSNとしてNを加えてあります。それらの後に数字(順番)を付け、出来るだけつながりがわかるようにしてあります。

◆特別支援教育コース

	1年次			2年次			3年次			4年次			計	
	科目名	選択 必修	単位	科目名	選択 必修	単位	科目名	選択 必修	単位	科目名	選択 必修	単位		
全学共通科目	日本国憲法		2	英語Ⅱ	選必	1	総合科目		2	芸術文化		2		
	うどん学		2	英語Ⅳ	選必	1	人権教育		2	ボランティア		2		
	香川学	必修	2				コミュニケーション演習Ⅰ		1	コミュニケーション表現		2		
	数理データサイエンスと未来	必修	2				コミュニケーション演習Ⅱ		1	人間と環境		2		
	情報基礎演習		1											
	情報応用演習		1											
	日本語表現基礎Ⅰ		1											
	日本語表現基礎Ⅱ		1											
	英語Ⅰ	選必	1											
	英語Ⅱ	選必	1											
	健康とスポーツ		2											
健康とスポーツ実習		1												
計	17単位			2単位			6単位			8単位			33	
子育て支援に関する専門科目	子育て支援に関する基礎科目	児童学研究法	必修	1	教育制度論		2							
		教育学原論	必修	2	教育課程論		2							
		教師論	必修	2									9	
	子どもの心の育ちを支える科目	教育心理学	必修	2	道徳教育論		2				教育相談 生徒・進路指導論		2	2
		子どもの体の育ちを支える科目	子どもの保健		2	体育Ⅰ-Ⅰ 体育Ⅰ-Ⅱ	1 1	体育Ⅱ-Ⅰ 体育Ⅱ-Ⅱ	1 1					6
	子どもの知性の発達を促す科目	国語(書写を含む)		2	図画工作Ⅰ-Ⅰ		1	特別活動論		2				
		算数		2	図画工作Ⅰ-Ⅱ		1	小学校英語		2				
		理科		2	教育の方法及び技術		2	総合的な学習の時間の指導法		2				
		社会		2	生活		2	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		1				
		家庭		2										22
特別な支援を必要とする子育てを支える科目	社会的養護Ⅰ		2	知的障害児の生理・病理		2	障害児の教育課程と指導法		2	病弱児教育演習		1		
	特別支援教育総論		2	知的障害児の心理		2	特別支援教育指導法研究		1	肢体不自由児教育演習		1		
	特別支援教育		2	病弱児の心理・生理・病理		2	病弱児教育		2					
	社会福祉		2	肢体不自由児の心理・生理・病理		2	視覚の発達と障害		2					
	知的障害児教育		2	知的障害児教育演習		1	聴覚障害教育総論		1					
	肢体不自由児教育		2	特別支援教育演習 LD等教育総論		1 2	重複障害教育総論		1					
													35	
子どもの音楽教育に関する科目				音楽Ⅰ-Ⅰ		1								
				音楽Ⅰ-Ⅱ		1								
				音楽Ⅱ-Ⅰ		1								
				音楽Ⅱ-Ⅱ		1							4	
教育実践に関する専門科目	教科指導に関する科目			国語指導法Ⅰ		1	生活科指導法Ⅰ		1	教職実践演習(小)		2		
				国語指導法Ⅱ		1	生活科指導法Ⅱ		1	外国語指導法Ⅰ		1		
				算数指導法Ⅰ		1	家庭科指導法		2	外国語指導法Ⅱ		1		
				算数指導法Ⅱ		1	体育指導法Ⅰ		1					
				理科指導法Ⅰ		1	体育指導法Ⅱ		1					
				理科指導法Ⅱ		1	音楽指導法Ⅰ		1					
				社会科指導法Ⅰ		1	音楽指導法Ⅱ		1					
				社会科指導法Ⅱ		1	図画工作指導法		2					22
	実習の科目			学校支援ボランティアⅠ		1	介護体験		1	特別支援教育実習		3		
				学校支援ボランティアⅡ		1	教育実習事前事後指導Ⅱ 教育実習Ⅳ		1 4	(事前事後指導を含む)				11
教育研究に関する専門科目	基礎演習Ⅰ	必修	1	演習Ⅰ	必修	1	演習Ⅱ	必修	1	卒業論文	必修	4		
	基礎演習Ⅱ	必修	1	演習Ⅱ	必修	1	演習Ⅳ	必修	1				10	
計	31単位			44単位			36単位			17単位			128	
合計	48単位			46単位			42単位			25単位			161	

特別支援教育コース履修系統図（左の頁の履修モデルに基づいて作成したものです）



（注）科目名の下の記号及び数字について
 子育てに関する基礎科目はKISOを、子どもを育てる科目にはKOKOを、子どもの体の育ちを支える科目にはKARAを、子どもの知性の発達を促す科目にはTISEを、特別な支援を必要とする子育てを支えるための科目にはTOKUを、子どもの音楽教育に関する科目にはONGAを、教科指導に関する科目にはKYOUを、実習の科目にはJISSを、教育研究に関する専門科目にはKENKを、それぞれ付けています。
 さらに、観察参加や教育実習にはJISSとしてEを加え、保育実習関係にはJISSNとしてNを加えてあります。それらの後に数字（順番）を付け、出来るだけつなげがわかるようにしてあります。